



日本の総人口が減少するなか

練馬区の人口が72万人を突破！！

～豊かな自然と住環境で子どものいるファミリー層に人気～

3月25日、練馬区の登録人口（住民基本台帳に登録された人口、外国人を含む）が720,027人となり、初めて72万人を突破しました。

この人口は、東京都内では、世田谷区に次いで2番目、全国でも19番目に多い都市です（平成27年10月現在）。

近年、子育て世代等の都心回帰が進み、東京都心の自治体の人口が増加しています。

練馬区は、都心への交通アクセスがよく、東京の魅力を享受しながら、農地や樹林・公園など多彩なみどりに包まれた暮らしを楽しむことができます。その住環境の良さから、ファミリー層に人気で、戦後ほぼ一貫して人口の増加が続いています。

区では、今後も、練馬区の可能性を最大限花開かせ、豊かで美しく後世に誇れるまちを目指して、みどりをさらに増やし、道路や公共交通など都市インフラを整備して、子どもからお年寄りまで、区民の皆様が心豊かに暮らせる魅力的なまちづくりを進めてまいります。

【人口の推移】

区の人口は、昭和22年に板橋区から独立した当時は、約11万人でした。人口増加は、昭和30年代前半から40年代半ばにかけての高度経済成長期に著しく、毎年2～3万人の増加で推移しました。昭和53年から56年に、わずかではあるが人口が減少した時期もありましたが、昭和61年には、光が丘地区等の開発に伴い約11,000人増加し、都内でも際立って大きい伸びを示しました。その後も今日まで逡増し続け、平成20年4月14日には登録人口70万人を突破しました。平成25年4月2日には、登録人口71万人に到達し、本年3月25日に72万人を突破しました。

【練馬区の将来推計人口】

今後も人口は増加を続け、平成37年には72万6千人を超える見込みです。



【練馬区人口ビジョン（平成27年12月）より】

【練馬区の特徴】

昭和 22 年に板橋区から独立し、特別区 23 番目の区として誕生しました。

練馬区は、大都市東京の都心近くにあつて、交通の利便性も高く、東京の魅力を十分に享受しながら、農地や樹林・公園など多彩なみどりに包まれた暮らしを楽しむことが出来る魅力的なまちです。特に緑被率は 25.4%（平成 23 年調査）と 23 区で最も高く、区では、みどり豊かな練馬区の魅力を全国に発信する「よりどりみどり練馬」プロジェクトを通じて、区のイメージアップを図っています。

【問い合わせ】 練馬区 戸籍住民課 庶務係 電話 03 - 5984 - 1031